

# インクルーシブ教育における、 特別支援教育コーディネーターに求められる役割は何か

学籍番号 199110

氏名 杉野 雄貴

主指導教員 家近 早苗教授

## 1. 問題と目的

実習校には、「特別支援教育コーディネーター (Special Educational Needs Coordinator 以下 S E N C O と記述) の役割が明確でなく、教職員に周知されていないことで、通常学級担任が S E N C O を効果的に活用することができていない」という課題がある。そこで、本実践課題研究の目的を、「実習校の実態をふまえた S E N C O の業務や役割を検討し、その内容を教職員に周知し、通常学級担任が S E N C O を効果的に活用できるようにしていくこと」とし、様々な自治体の S E N C O についての実践やガイドブック及び、報告者の S E N C O としての日々の取り組みの記録を基に検討する。

## 2. 研究内容

### 〈研究Ⅰ (基本学校実習Ⅰ・Ⅱ)〉

【目的】報告者が日々 S E N C O として行っている業務や関わっている事例について、文部科学省が示す 5 つの役割に基づいて明らかにし、その内容を検討する。

【方法】 S E N C O として日々行っている業務及び通常学級担任や関係機関との関わりについて、日々の記録を基に、文部科学省が示す 5 つの役割を用いて分類する。

【結果・考察】文部科学省が示す S E N C O の 5 つの役割である、(1)保護者の相談窓口、(2)関係機関との連携、(3)担任の支援、(4)校内委員会での推進役、(5)巡回相談や専門家との連携について、報告者が行っている業務を分類した結果、 S E N C O が中心となって連絡調整の役割を果たすことで、情報が集約され、支援教育の専門家としての目線で指摘や助言を行うことができた。また、いずれの役割についても、管理職との情報共有を行っていたことが共通点として挙げられた。管理職と情報共有を行うことによって、管理職の判断や理解を仰ぐことができ、連携がよりスムーズに行うことができるのではないかと。

### 〈研究Ⅱ－1 (発展課題実習Ⅰ)〉

【目的】1 つ目は、実習校の実態に合わせた S E N C O の役割や 1 年間の流れを明確にし、教職員の理解を深めることである。2 つ目は、新型コロナウイルス流行に伴う、ソーシャルディスタンス等の感染予防対策をふまえた支援・指導を検討する。

【方法】 S E N C O の役割を示したハンドブックを、支援学級担任の助言や意見をふまえた作成、教職員に S E N C O の役割を周知する。また、新型コロナウイルス感染に対する対策

をふまえた支援学級担任としての支援・指導及び、支援学級の利用について、通常学級での対策を参考に支援学級としてのルールを定め、教職員に周知する。

【結果・考察】ハンドブックの作成にあたり、文部科学省の示す5つの役割から、実習校の実態をふまえて、(1)校内の関係者や、関係機関や専門家チームとの連絡調整、(2)保護者の相談窓口、(3)通常学級担任の支援、(4)校内支援の推進役の4つとした。この文言を基に、支援学級担任と協議を行い、4つの役割の修正を行った。修正したハンドブックを教職員に周知し、SENCOの役割への理解を深めることができた。また、支援学級担任が行う支援について、ソーシャルディスタンスをふまえた対策を検討し、保護者・教職員への周知及び支援学級の利用についての感染対策を実施した。

### 〈研究Ⅱ－2（発展課題実習Ⅱ）〉

【目的】SENCOの役割を教職員に周知した後、通常学級担任とSENCOの関わりにどのような変化が現れたかということについて検討する。

【方法】SENCOと教員（通常学級担任）との関わりや相談・報告内容について、日々の記録を基に、その経過を述べる。

【結果・考察】研究Ⅱ－1でSENCOの役割を周知したことで、これまで相談を行ったことがない通常学級担任からの相談を受けてのコンサルテーションを実施することができた。それぞれの事例に共通することとして、SENCOと担任だけでなく、事例に関わりのある教員も交えて実施を行うことで、今後の方針や対応の決定がスムーズであった。また、SENCOの役割への理解が深まったことで、これまでは学級担任の相談する選択肢の中に入っていなかったSENCOが、相談先の選択肢になったことで、支援教育の専門家及び支援学級全体を見通して指摘や助言ができる立場としてこれまで以上に機能することとなった。

## 3. 総合考察

本研究において、実習校の実態をふまえたSENCOの役割や業務を明らかにし、教職員に周知することで、教職員のSENCOへの理解が深まるとともに、SENCOという相談の選択肢が増え、活用につながっていくことが明らかになった。そして、コンサルテーションを行うにあたり、事例に関わりのある支援学級担任や通級指導担当の教員も交えて実施を行い、具体的な対応や今後の方針を決定できたことから、SENCOは、校内の教職員を繋ぐ機能があることが明らかになった。実習校の実態をふまえたSENCOの役割を明確にし、教職員に周知することで、今まで以上にSENCOが果たしている役割や機能が広がり、その結果、通常学級担任と支援学級担任を繋ぐ役割も果たすことができる（図1－1）。

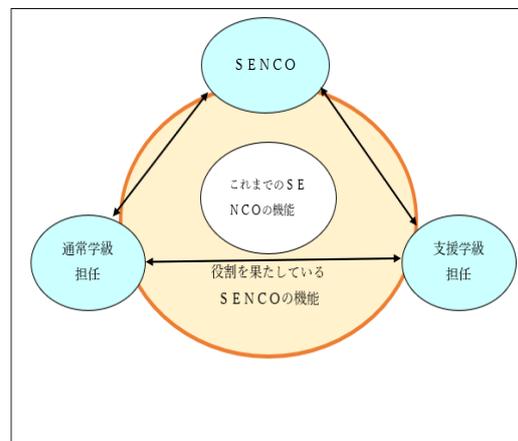


図1－1 SENCOの役割が明確になることによる、SENCOの働きの変化